

観光安心通信

令和3年5月1日号

県では、県内での新型コロナ感染症の感染事例における「感染拡大に影響があると推測される事項」を記者発表資料等から抜粋するなど事例を紹介し、改めて、各施設等における感染症対策の確認をしていただけるよう、月2回「観光安心通信」を発行し、情報提供しています。事例(推測される事実)の御紹介になりますが、是非、御一読いただき、参考にいただければ幸いです。

事例1 4/17 発表 (農林・水産業(農業))

休憩時に近距離かつマスクなしで会話(食事)していたこと。

事例2 4/22 発表 (高齢者施設)

職員の体調の把握など健康管理に不十分な面が見られたほか、複数の職員が飲食中マスクなしで会話したり、感染対策を取らずに介助を行うことがあった。

事例3 4/24 発表 (高齢者施設)

咳、鼻水等の症状はあったものの発熱がないことから滞在していた者がいた。

県民の皆様方へのお願い

5つの約束

- 1 いつも一緒にいる人と過ごす
- 2 人の多いところに出かけない
- 3 常にマスクを忘れない
- 4 常に手洗いを忘れない
- 5 常に換気に注意する

飲食時の感染リスクについて

現在、飲食店だけでなく、個人宅や職場・屋外作業の休憩時において、複数の人数がマスクを着用せず飲食したことにより感染が拡大したと思われる事例が確認されております。政府が示している「感染リスクが高まる5つの場面」のとおりに、大人数での飲食は、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、屋内外を問わず感染リスクが高まります。

個人宅や職場・屋外作業の休憩時の黙食、会話時のマスク着用の徹底、体調が悪い人は参加しないなどの「感染リスクを下げる工夫」を実践していただきますようお願い申し上げます。

発行：宮城県観光政策課・観光プロモーション推進室
公益社団法人宮城県観光連盟

【お知らせ】 宮城県では、新型コロナウイルス感染症への対策を行っている施設に、「新型コロナ対策実施中！ポスター・ステッカー」を配布し多くの施設に参加していただいています。登録が未だの施設は是非、御検討ください。詳しくは、宮城県観光連盟HP (<https://www.miyagi-kankou.or.jp>)を御覧ください。